

「自分の命は、自分で守る」訓練を通して力をつける子ども達

○避難訓練、引渡し訓練を実施しました。

昨年10月21日の鳥取中部を震源とする地震の際には、素早い行動で避難できた子ども達でした。

今年は、昨年の反省をふまえ、地震による避難訓練の後、全ての保護者を対象とした引渡し訓練を実施しました。はじめの地震による避難訓練では、きちんと防災座布団をかぶり、先生の指示で落ち着いて避難しました。中には、座布団のない児童もいましたが、代用として教科書をひろげて頭を守っていました。場合によってはそれも大切なことです。全体指導で、担当から避難の際の注意事項を聞き、みんなで「自分の命は、自分で守る」と大きな声で確認しました。

その後の、引渡し訓練には、平日の午後にも関わりませず、多くの保護者・家族の皆さんに来ていただきました。事前にお知らせしていた「引渡しカード」に避難場所(連絡先)も記入していただき、児童を一人一人確認して引渡しました。

あつてはならないことですが、いざという時、大切な命を守る訓練を、無事実施することが出来ました。ご理解とご協力、ありがとうございます。どうか、各家庭でも、今一度、いざという時の避難場所、連絡の取り方等の確認をお願いします。



○交通安全教室で、学んだこと。

11日は、美方警察の方に来ていただき、全校生対象の交通安全教室を実施しました。全体で、交通安全についての話を聞いた後、低学年は実際の道路での安全歩行、中・高学年はビデオを通した自転車の乗り方の学習をしました。最近のニュースで、「登校中の児童の列に車が」という痛ましい事故が、度々報道されています。信号が青でも、もう一度確かめることも大切です。また、香住小学校の児童は、保護者のご理解によって、自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶることが定着してきました。こけても、大事な頭を守ってくれるヘルメットです。でも、自転車も乗り方によっては、加害者になることもあります。自転車のわき見運転で、歩行者に大きなけがを負わせることもあります。このたびの学習をもとに、交通安全を通して「自分の命は、自分で守る」ことをしっかり学んだ子ども達でした。

がんばっています。かすみっ子



3年生は、来週、矢田川漁業協同組合と香住地区公民館、香住高校の皆さんにお世話になり、「鮎の放流」体験をさせていただきます。昨年は、雨による増水のため中止になりとても残念でしたので、今年は何とか実施できないかと願っています。そこで、10日には、矢田川の生き物について事前学習をして、「鮎の放流」の意義を確かめることにしました。矢田川漁協の田淵さんと前田さんに来ていただき、矢田川の上流・中流・下流の様子がわかるパネルを準備していただき、矢田川の生き物についてくわしく話をさせていただきました。環境学習のひとつとして、身近な矢田川のすばらしさと大切さを感じた子ども達でした。